



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東大  
 コード番号 3950 URL <http://www.thepack.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中尾 吉計  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 織田 強 TEL 06(6972)1221  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	56,727	0.5	3,348	8.9	3,451	8.0	1,645	△4.1
21年12月期第3四半期	56,456	—	3,076	—	3,195	—	1,715	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	82.71	—
21年12月期第3四半期	93.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	58,918	30,620	51.9	1,538.42
21年12月期	55,261	29,766	53.8	1,495.26

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 30,604百万円 21年12月期 29,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年12月期	—	20.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	0.5	5,600	2.5	5,750	1.9	3,000	△1.9	150.80

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期3Q	19,900,000株	21年12月期	19,900,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

22年12月期3Q	6,405株	21年12月期	5,417株
-----------	--------	---------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年12月期3Q	19,893,809株	21年12月期3Q	18,351,094株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	4
	(1) 重要な子会社の異動の概要	4
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書	7
	【第3四半期連結累計期間】	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 継続企業の前提に関する注記	11
	(5) セグメント情報	11
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4.	補足情報	13
	生産、受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年1月1日から平成22年9月30日まで)におけるわが国経済は、前半の景気は緩やかな回復傾向を見せておりましたが、後半は記録的な猛暑や円高、デフレが進むなど、雇用不安や個人消費の低迷が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、今年度のスローガンを「変革対応 勇往邁進」と定め、グループを挙げて、製品・サービスの開発、品質向上、販売強化、新市場開拓の施策を講じ、業務改革によるコスト削減に注力するなど、中長期的な経営方針を着実に実行して、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は567億27百万円(前年同期比0.5%増加)、営業利益は33億48百万円(前年同期比8.9%増加)、経常利益は34億51百万円(前年同期比8.0%増加)、四半期純利益は投資有価証券売却損等の計上により16億45百万円(前年同期比4.1%減少)となりました。

#### (紙加工品事業)

当第3四半期連結累計期間における売上高の57.2%を占めるこの部門では、紙袋(対連結売上高構成比29.7%)は、平成21年4月より事業を開始した株式会社バックタケヤマの売上が貢献しましたものの、高級袋を中心とした需要が十分に回復するには至らず、紙袋の同上売上高は168億51百万円(前年同期比0.5%減少)となりました。

紙器(同上構成比13.3%)は、新規市場の開拓に努めました結果、減少率がやや鈍化し、同上売上高は75億44百万円(前年同期比3.8%減少)となりました。

段ボール(同上構成比11.9%)は、主要顧客である家電業界の需要が回復傾向にあるほか、積極的な営業活動の成果が表れ、同上売上高は67億27百万円(前年同期比11.2%増加)となりました。

印刷(同上構成比2.3%)の同上売上高は12億97百万円(前年同期比10.1%減少)となりました。

以上により、この部門の同上売上高は324億20百万円(前年同期比0.5%増加)、営業利益は22億11百万円(前年同期比7.0%増加)となりました。

#### (化成品事業)

当第3四半期連結累計期間における売上高の21.3%を占めるこの部門では、生産市場向け製品は4月から回復傾向にあるものの、レジ袋など流通業界向け製品の出荷が低調で、同上売上高は121億8百万円(前年同期比1.1%減少)、営業利益は9億49百万円(前年同期比9.1%増加)となりました。

#### (その他事業)

当第3四半期連結累計期間における売上高の21.5%を占めるこの部門では、PASシステムに係わる用度品の売上増加が繊維品の販売不振を補い、同上売上高は121億98百万円(前年同期比2.1%増加)、営業利益は10億4百万円(前年同期比8.6%増加)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ36億57百万円増加し、589億18百万円となりました。これは主に「現金及び預金」・「有価証券」・「土地」・「建設仮勘定」の増加、「受取手形及び売掛金」の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ28億2百万円増加し、282億97百万円となりました。これは主に「短期借入金」・「長期借入金」の増加、「支払手形及び買掛金」・「未払法人税等」の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8億54百万円増加し、306億20百万円となりました。これは主に「利益剰余金」の増加によるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて13億95百万円増加し、74億96百万円となりました。

##### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少及び法人税等の支払額があった一方、売上債権の減少、税金等調整前四半期純利益等により33億79百万円の収入(前年同期は29億72百万円の収入)となりました。

##### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入があった一方、有価証券及び有形固定資産の取得による支出等により63億30百万円の支出(前年同期は48億26百万円の支出)となりました。

## ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払及び短期借入金の減少があった一方、長期借入による収入により43億55百万円の収入（前年同期は16億48百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

円高やデフレの傾向、雇用不安、気候不順等の要因により、当社の主力販売先である流通市場、生産市場における経費節減の傾向と個人消費の低迷は当面の間続くものと予想され、環境問題の影響や原油・原材料価格の変動への対応等とともに、厳しい経営環境が続くものと思われま。

このような状況のなか、これまで行ってまいりました販売強化の諸施策が少しずつ表れました結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ売上高は第2四半期連結累計期間に続き僅かながら増収を維持し、今後も緩やかな回復基調で推移するものと予想しております。

今後は、CO2削減など環境面への配慮を含め、需要的確に対応した設備投資を行うなど、お客様にご満足いただける製品・サービスの開発と品質向上に努め、グローバルな視野で市場開拓、事業の拡大を行い、業務改革による合理化を推進して一層の利益体質強化を図り、業績の向上に努める所存でございます。

なお、平成22年2月12日付で公表いたしました平成22年12月期の連結業績予想、個別業績予測を本第3四半期決算短信において売上高、当期純利益それぞれを下方修正いたしました。

修正いたしました平成22年12月期の業績予想は次の通りでございます。

平成22年12月期の連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	83,600	5,600	5,750	3,150
今回修正予想 (B)	82,000	5,600	5,750	3,000
増減額 (B-A)	△1,600	—	—	△150
増減率 (%)	△1.9	—	—	△4.8
(ご参考)				
前期実績 (平成21年12月期)	81,555	5,464	5,644	3,057

平成22年12月期の個別業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	76,700	5,300	5,650	3,350
今回修正予想 (B)	75,000	5,300	5,650	3,000
増減額 (B-A)	△1,700	—	—	△350
増減率 (%)	△2.2	—	—	△10.4
(ご参考)				
前期実績 (平成21年12月期)	75,602	5,201	5,622	3,340

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

重要な該当事項はありません。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更

(連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間では「給料及び手当」に含めて記載していた「役員報酬」について、当第3四半期連結累計期間より、より詳細な開示情報を提供するため別掲で表示しております。

なお、前第3四半期連結累計期間において「給料及び手当」に含まれていた「役員報酬」の金額は280百万円であります。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間では区分掲記しておりました「自己株式の取得による支出」及び「自己株式の売却による収入」は重要性が乏しいため、当第3四半期連結累計期間より財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれている「自己株式の取得による支出」は△1百万円、「自己株式の売却による収入」は0百万円であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,506	5,211
受取手形及び売掛金	15,416	21,199
有価証券	5,506	3,697
商品及び製品	5,069	4,368
仕掛品	513	430
原材料及び貯蔵品	553	530
繰延税金資産	392	229
その他	431	123
貸倒引当金	△37	△45
流動資産合計	35,352	35,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,590	3,935
機械装置及び運搬具(純額)	3,614	3,597
工具、器具及び備品(純額)	142	165
土地	7,548	5,639
建設仮勘定	5,354	2,275
有形固定資産合計	20,251	15,612
無形固定資産		
投資その他の資産	170	193
投資有価証券	1,601	1,987
繰延税金資産	1,046	1,088
その他	642	784
貸倒引当金	△145	△150
投資その他の資産合計	3,144	3,710
固定資産合計	23,565	19,516
資産合計	58,918	55,261

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,610	18,649
短期借入金	2,052	660
未払法人税等	325	1,341
賞与引当金	547	165
役員賞与引当金	20	27
その他	3,309	1,966
流動負債合計	21,865	22,810
固定負債		
長期借入金	3,747	—
退職給付引当金	2,449	2,429
役員退職慰労引当金	—	243
その他	235	12
固定負債合計	6,432	2,685
負債合計	28,297	25,495
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,165	3,165
利益剰余金	25,263	24,413
自己株式	△5	△4
株主資本合計	30,976	30,128
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	6
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△430	△387
評価・換算差額等合計	△372	△380
少数株主持分	16	18
純資産合計	30,620	29,766
負債純資産合計	58,918	55,261



## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	56,456	56,727
売上原価	43,489	43,452
売上総利益	12,967	13,274
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,445	2,486
給料及び手当	3,009	2,727
役員報酬	—	283
貸倒引当金繰入額	29	20
賞与引当金繰入額	315	311
役員賞与引当金繰入額	22	20
退職給付費用	278	271
役員退職慰労引当金繰入額	32	8
減価償却費	283	247
賃借料	1,761	1,768
その他	1,713	1,780
販売費及び一般管理費合計	9,890	9,926
営業利益	3,076	3,348
営業外収益		
受取利息	58	60
受取配当金	29	39
受取保険金	16	16
その他	52	56
営業外収益合計	156	172
営業外費用		
支払利息	13	11
株式交付費	13	—
売上債権売却損	6	4
貸倒引当金繰入額	—	25
資金調達費用	—	23
その他	3	4
営業外費用合計	36	69
経常利益	3,195	3,451

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	2
固定資産売却益	21	—
投資有価証券売却益	19	16
特別利益合計	41	19
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	18	20
投資有価証券売却損	2	264
投資有価証券評価損	183	43
固定資産臨時償却費	—	164
賃貸借契約解約損	—	22
特別損失合計	206	514
税金等調整前四半期純利益	3,031	2,956
法人税、住民税及び事業税	1,407	1,479
法人税等調整額	△88	△167
法人税等合計	1,318	1,312
少数株主損失(△)	△2	△1
四半期純利益	1,715	1,645

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,031	2,956
減価償却費	986	957
のれん償却額	18	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	373	381
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△34	20
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△60	△243
受取利息及び受取配当金	△87	△99
支払利息	13	11
固定資産売却損益(△は益)	△20	—
固定資産除却損	18	20
固定資産臨時償却費	—	164
投資有価証券売却損益(△は益)	△16	248
投資有価証券評価損益(△は益)	183	43
株式交付費	13	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,315	5,751
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119	△814
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,968	△3,019
その他	△336	△627
小計	5,334	5,743
利息及び配当金の受取額	87	118
利息の支払額	△13	△11
法人税等の支払額	△2,436	△2,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,972	3,379
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△5,151	△11,419
有価証券の売却による収入	2,400	8,710
貸付けによる支出	△112	△154
貸付金の回収による収入	178	173
有形固定資産の取得による支出	△1,540	△3,870
有形固定資産の売却による収入	32	—
無形固定資産の取得による支出	△13	△18
投資有価証券の取得による支出	△24	△141
投資有価証券の売却による収入	34	339
営業譲受による支出	△605	—
その他	△23	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,826	△6,330

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	285	△330
長期借入れによる収入	—	6,000
長期借入金の返済による支出	△105	△531
配当金の支払額	△730	△782
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の処分による収入	1,505	—
株式の発行による収入	693	—
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,648	4,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△206	1,395
現金及び現金同等物の期首残高	4,700	6,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,493	7,496

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

	紙加工品 事業 (百万円)	化成品 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	32,267	12,245	11,943	56,456	—	56,456
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	32,267	12,245	11,943	56,456	—	56,456
営業利益	2,066	870	925	3,862	(786)	3,076

(注) 1 事業区分は、製品の種類により区分しております。

- 2 各事業の主な製品 紙加工品事業・・・紙袋、紙器、段ボール箱、段ボール、洋服箱、印刷  
化成品事業・・・・・・ポリ袋、テラーバッグ  
その他事業・・・・・・繊維品、その他雑貨

## 3 会計処理基準に関する事項の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は紙加工品事業が24百万円、化成品事業が6百万円、その他事業が6百万円それぞれ減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	紙加工品 事業 (百万円)	化成品 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	32,420	12,108	12,198	56,727	—	56,727
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	32,420	12,108	12,198	56,727	—	56,727
営業利益	2,211	949	1,004	4,166	(817)	3,348

(注) 1 事業区分は、製品の種類により区分しております。

- 2 各事業の主な製品 紙加工品事業・・・紙袋、紙器、段ボール箱、段ボール、洋服箱、印刷  
化成品事業・・・・・・ポリ袋、テラーバッグ  
その他事業・・・・・・繊維品、その他雑貨

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、90%を超えているため、その記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、90%を超えているため、その記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## セグメント別の状況

## (1) 生産実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	
	生産高	構成比	生産高	構成比
		%		%
紙加工品事業	14,226	88.4	13,938	87.0
化成品事業	1,585	9.9	1,690	10.6
その他事業	280	1.7	390	2.4
合計	16,093	100.0	16,019	100.0

- (注) 1 金額は製造原価で計算しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)				当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)			
	受注高	構成比	受注残高	構成比	受注高	構成比	受注残高	構成比
		%		%		%		%
紙加工品事業	34,077	70.6	3,747	68.8	33,221	70.3	3,729	71.9
化成品事業	12,326	25.5	1,047	19.3	12,382	26.2	1,003	19.4
その他事業	1,874	3.9	645	11.9	1,667	3.5	450	8.7
合計	48,277	100.0	5,440	100.0	47,272	100.0	5,183	100.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 その他事業の一部は受注生産を行っておりません。

## (3) 販売実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
		%		%
紙加工品事業	32,267	57.1	32,420	57.2
化成品事業	12,245	21.7	12,108	21.3
その他事業	11,943	21.2	12,198	21.5
合計	56,456	100.0	56,727	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

品種別の状況

(1)生産実績

(単位：百万円)

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	
	生産高	構成比	生産高	構成比
		%		%
紙袋	6,544	40.7	7,442	46.4
紙器	3,884	24.1	2,766	17.3
段ボール	2,538	15.8	2,669	16.7
印刷	1,258	7.8	1,059	6.6
ポリ袋	1,585	9.9	1,690	10.6
その他	280	1.7	390	2.4
合計	16,093	100.0	16,019	100.0

- (注) 1 金額は製造原価で計算しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2)受注実績

(単位：百万円)

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)				当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)			
	受注高	構成比	受注残高	構成比	受注高	構成比	受注残高	構成比
		%		%		%		%
紙袋	18,429	38.2	2,388	43.9	17,383	36.8	2,492	48.1
紙器	8,133	16.8	1,079	19.8	7,822	16.5	1,021	19.7
段ボール	6,062	12.6	204	3.8	6,710	14.2	159	3.1
印刷	1,452	3.0	74	1.3	1,304	2.8	55	1.0
ポリ袋	12,326	25.5	1,047	19.3	12,382	26.2	1,003	19.4
その他	1,874	3.9	645	11.9	1,667	3.5	450	8.7
合計	48,277	100.0	5,440	100.0	47,272	100.0	5,183	100.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 その他事業の一部は受注生産を行っておりません。

(3)販売実績

(単位：百万円)

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
		%		%
紙袋	16,935	30.0	16,851	29.7
紙器	7,839	13.9	7,544	13.3
段ボール	6,048	10.7	6,727	11.9
印刷	1,443	2.5	1,297	2.3
ポリ袋	12,245	21.7	12,108	21.3
その他	11,943	21.2	12,198	21.5
合計	56,456	100.0	56,727	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上